

# 第1回「パラスポーツフェスティバル」通信

令和6年7月2日(火) 宮崎県障がい者スポーツ協会

6月22日(土)と29日(土)、本年度から始まった個人競技のアスリート育成強化事業の一環として、『第1回パラスポーツフェスティバル』をひなた宮崎県総合運動公園で開催しました(29日(土)は、宮崎エースレーンでボウリング競技のみを実施)。体験できた競技は、全国障害者スポーツ大会の個人競技となっている7種目で、小学生から高齢者まで延べ214名が参加しました。

22日(土)は、午前中に各競技専門委員とサポート補助員で競技の準備を行い、正午からの開催でした。雨の影響で活動が制限されないか気がかりでしたが、活動が始まる頃は雨も上がり、参加者は蒸し暑い中で心地よい汗を流していました。また、29日(土)はボウリング競技を実施しました。初めて行ったペア戦(2人1組で競う)では一投毎に歓声が上がり、ハイタッチし合う姿も見られました。3年後に開催される全国障害者スポーツ大会宮崎大会に向け、多くのアスリートが育っていく予感を抱いたフェスティバルでした。

## アーチェリー競技



## ボッチャ競技



## 陸上競技



## 卓球競技



## 水泳競技



## ボウリング競技



## フライングディスク競技

この『パラスポーツフェスティバル』は、平成28年度から始まった「みんながアスリート!」事業を引き継いだものです。本年度から参加者の上限年齢を廃し、多くの方が参加できるようにしました。また、県スポーツ協会加盟団体の競技エキスパートと県パラスポーツ指導員、特別支援学校の教職員で各競技の競技専門委員を構成し、競技体験を通してスポーツでの自己実現と社会参画を後押しするとともに、競技人口の拡大を目標としています。このフェスティバルへの参加者から県や国を代表するアスリートが育っていくことを願ってやみません。最後に、本事業の実施に当たり、県内の大学及び専門学校6校に御理解を得て、各競技に延べ50名程の学生にサポート補助員として登録いただき、当日は体験会の運営に献身的に尽力していただきました。心から感謝申し上げます。この事業の実施にあたり、御協力いただいた関係各位、特別支援学校校長会の皆様に深くお礼申し上げます。